



① JR 折尾駅(折尾のシンボル) **取壊し予定**

不便な駅と言われるが、乗り換えに1km歩いていたら考えると、とても便利な駅。立体交差させた発想に脱帽。更に、短絡線(貨物専用線路)を活用し、折尾を通過していた客車を停車させるために、150m離れた場所に、6・7番乗り場までつくった。

折尾駅の乗降客(改札口を出入りする数)は九州で5番目。折尾駅構内で乗り換えを含む利用客は、博多、小倉に次いで九州で3番目に多い。

■所在地：八幡西区堀川町1-1【参照：P2～P4】

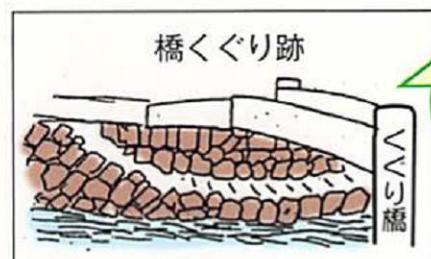
② 堀川沿いのレトロな飲食街 **取壊し予定**

若松まで1ヶ月かかっていた運搬が、堀川運河ができたことにより、約1週間に短縮され、安心・安全に行き来できるようになった。折尾駅舎(東口)を出てすぐ右に、間口一間ほどの小さな飲食店が立ち並ぶ。昔は、蘇州を思わせる柳の木が沢山あった。堀川沿いのレトロな雰囲気のある飲食街は、全国でここだけと聞く。時々、ロケ地としても使われている。

■所在地：八幡西区堀川町【参照：P1】



折尾駅



橋くぐりの道は
上流に向かって
右側にあった

③ くぐり橋(橋くぐり跡)

この橋には図でわかるように橋の下に道が造られており、船曳きはいちいちロープを川ひらたにかえさなくてもよかった。当時、川筋には橋が少なかったが、橋の下に道があるのはここだけである。

■所在地：八幡西区東筑：東筑橋の隣の橋



④ 折尾警察署 旧庁舎

明治39年(1906)建築の「折尾警察署」を昭和16年(1941)に折尾愛真学園に解体移築。

■所在地：八幡西区堀川町12-15



⑤ 三好セキ女史頌徳碑

夫の三好徳松氏は三好鋳業株式会社の鋳主で、大正9年(1920)より衆議院議員を2期務めた。セキ女史は、女学校が小倉と直方にしかなかったことから、遠賀郡内に女子教育を行う学校の必要性を感じ、大正7年(1918)に私財を出して私立折尾高等女学校を設立した。大正15年(1926)福岡県に、敷地・建物すべてが譲渡・移管された。碑文は、廣田弘毅(当時の外務大臣、のちに内閣総理大臣)の筆による。

■所在地：八幡西区大膳2-23-1 折尾高校正門付近【参照：P16】